

VI 「その他」の意見の詳細、自由意見

(1) 「その他」の意見の詳細

問7 介護について

問9 家事等への参加に必要なこと

問11 市が力を入れていくべきこと

(2) 問12 男女共同参画についての自由意見

(1) 「その他」の意見の詳細

問7 家族が寝たきりなどになった場合の介護について、あなたはどのように考えますか？

- ☐ 男、女、子にかかわらず時間、体力のある人が中心となりみんな協力して。
- ☐ 共倒れにならなよう病院、施設を考えた方が良い。
- ☐ 男、女と対立して考えるよりも 1. 向き不向き 2. 体力の強弱 3. 職業柄 4. 拘束可能時間の有無 5. 人間関係等も参考にした方が良いと思う。特に男の人は避けて逃げるところがあるので。この場合の ※向き不向きとは、性格が落ち着いているとか、気が長い短いか、前向きか。
- ☐ それぞれ状況が異なるので一般論を言っても意味がない。その時その場でみんなで協力しなければ続けられない。
- ☐ 状況により一概には言えない。
- ☐ 介護される人が良ければヘルパーなどを入れて「誰か」に負担が多くかかる事は避けるべき。介護保険を利用する。
- ☐ 介護できる家族がいればその人(男女問わず)がやればいい。いないか、全てを出来なければ介護専門員に頼んでもいいと思う。
- ☐ 実子8割、配偶者2割くらい。
- ☐ 家族に負担を強要してはいけない。
- ☐ 実子が介護すべきとは思いますが仕事や時間、介護内容による体力、金銭的な事情ではお互い融通すべきだと思う。義家族の介護を任せきりなのはもっての他。
- ☐ 専門家に任せる。
- ☐ 子供の配偶者・孫が相談して出来る事をすればいい。力仕事は働いていても男性、買出しは孫でもできるから。子供の配偶者・孫が相談して出来る事をすればいい。力仕事は働いていても男性、買出しは孫でもできるから。
- ☐ 下の世話もあるので女性の方が向いていると思う。
- ☐ その時の状況でできる方がやればいい。
- ☐ 公共・民間サービスを利用すべき。
- ☐ ケースバイケースである。設問が悪い。
- ☐ ケースバイケースで出来る人が出来るタイミングでやる。
- ☐ 話し合って決める。施設も考えるがお金がないと駄目なので相談みれる人がみる。
- ☐ ②にしましたが現実には男性は仕事がありなかなか出来ず女性の仕事になっている。男性も意識だけでも変わってほしいものですがね！

問9 今後、男性が女性とともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか？

- ☐ 義務教育の中で指導する
- ☐ 子供の頃からの社会教育
- ☐ 男性の時間の余裕
- ☐ 1年間、やっている事をやってみる。世の中が許されればの事だが。見ると聞くとでは大違い。女性の脳の使われ方がいかに幅広い。
- ☐ 失敗を恐れずチャレンジする。

問11 「男女共同参画社会」を実現するため、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

- ☐ 意味がわからない
- ☐ 難しい問題だ
- ☐ 男女共同参画社会の意味がわからない

(2) 問12 男女共同参画についての自由意見

10代男性(4件)

○男女共同参画社会の実現にむけていろいろな事業を展開していくことは大事だと思いますが、まずはじめに必要なことは意識の変化だと思います。今現在男女同権の考えを持っていない人を変化させることは容易ではありません。したがって僕たちのような子どもにも教育が必要だと思います。大人への対応と子どもへの教育の実現が男女共同参画社会への第一歩になるのではないのでしょうか。

○女性が夜遅くまで働くのは危険ですし、やはり男でなければ出来ない仕事はあると思うので、ある程度線引きは必要だと思います。

○市が男女平等意識を啓発することは大事だと思うが、個人としての意識も変えていかなければいけないと思う。

○男女が共に社会で仕事等で生活していく上で労働条件や賃金等で平等を図らなくてはならない。法律もそうだと思う。痴漢、冤罪やDVは男性から女性のものといった認識等も。そういった壁が取り払われることで本当の男女参画に近づけると思う。

10代女性(2件)

○ゆとり教育の世代は、一人一人男女平等の考えを持っているがそれ以外はまだまだあまりそういう考えが出来ていないように思う。女は事務仕事をやっていればいい等という考えがまだあるのではないと思う。その職業には女は必要ないという考えもまだまだ残っているのではないだろうか。

○この政策はいいことだと思います。ですが、男性が女性に抵抗を持たない様になれば、女性が社長の企業が現れると思います。

20代男性(3件)

○共同参画という名の下、実際女性の立場、守る手段が強くなりすぎており、女尊男卑の形に近くなってきている気がする。今までのバランスが男性優位だったが、急なバランスの均一は難しいと感じる。専用という形ではなく優先や、ちゃんと伝えたい内容をメディアを通して国・地方が主観を抜きに伝えるべき。

○そもそも「格差を無くす」という言葉自体を無くすべきだと思う。女性が大学へ進学するのが当たり前になった昨今では、自然と女性が就職する機会や人数が増えており正直男性との差はあまりなく感じている。

「男女差を無くす」という発言は裏を返すと「男女で差がある」と言っているのと同義である。大人世代が耳にしても違和感はないが子供が聞くと無意識に男女間の格差を感じてしまう様になると思う。

確かに武士社会だった日本では男尊女卑的な社会ではあったが、先述の通り女性の大学の進学が増えた現在ならば、今すぐは無理でも自然と男女間格差はなくなっていくと思う。少し偏った見方をすれば「格差を無くす」という言葉は子供に先入観を与え、むしろ男女間の争いの火種にもなり得るとも言える。(男or女のくせにといった差別的な発言等)

長くなったが、まとめると長い目で見て子供達に男女格差を意識させない様にするべきだというのが私の考えである。

○20代男性です。私は就職して3年目です。正直男女共同参画社会の意味がいまいちわかっていません。自分なりの解釈で意見を述べさせていただきます。
仕事の面で言いますと、よく「男だから、女だから」という言葉をよく耳にします。私はこの言葉があまり好きではありません。「男性にできないことは女性が助ける。女性ができないことは男性が助ける。」何においても「助け合い」が必要だと思います。
この「助け合い」が日常的になってくると男女差別が減ると私は考えます。なんでも共にやる。そうすることでもっとお互いを頼るようになり相手を必要とすれば差別は解消されると思いませんか？まだ20歳の浅知恵ですが参考になればと思います。

20代女性(4件)

○未来の担い手である子どもに教育を施すのが良いと思います。

○男女共同参画の事を色々な方々に知ってもらうために小さな子から年配の方々まで幅広い世代の方々が読んで理解できるような分かりやすいものがあればいいなと思いました。説明の中に絵を入れてわかりやすくしたり、説明文ももっと普段使っている言葉で説明してもらえたら色々な方々が理解しやすくなるのではないかと思います。

○男女が全てを平等というのは正直むずかしいと思います。男女が、お互いの出来ること出来ない事を認めて尊敬しあいながら生きていけたら理想的です。あと、女性に対する暴力相談があるなら男性に対するものがあるといいと思います。女は力じゃなくてその分精神攻撃してくると思うのでそれを男の人がまわりにSOS出して周りも動かなくてはいけません。

○男女平等といって特に一般市民は感じない。これからも変わるとは思わない。(すぐには・・・)

30代男性(2件)

○男女の身体的特性により得意、不得意が必ずある。決して差別ではなく、能力の区別として受け入れてお互いを思いやる地域・まちづくりが必要だと思う。

○もっとみんなにわかるようにPRする必要があると思う。

30代女性(2件)

○若者は比較的男女共同参画について理解があると思うので、まず、頭の固い団塊世代以降の人達(主に男性)対象のセミナーなどするとよいと思う。

○石狩市民に男女共同参画について知る機会を増やしてもらえると有難いです。まだ知らない方もいらっしやと思います。

40代男性(3件)

○石狩市においては文化活動が目立っており、男女共同参画意識の構成が図られているためだと思われる。きっかけは市民参加意識の向上によるものであり今後も女性に限らず積極的な市民参加や協働の取り組みを推進して頂きたい。

○時間が解決してくれる問題だと思う。

○何もかもが平等というようになると社会があらぬ方向に行きそうな気がする。女性には女性の役割や適した物事があると思う。同様に男性にも言えると思う。行政がいろいろな事を考えて行動している事には評価するが、取り組む人間に主旨を正確に伝えてほしい。やる側の者が理解しないで市民に伝えるとあちこちベクトルが向いてしまい本文を見失ってしまうと思う。

40代女性(5件)

○子供や親の介護等、女性が社会へ再び参加するのには多くの制限があると思います。女性が仕事に集中できる環境作りが必要だと強く感じます。また、男女問わずに適した人を適した仕事につけるような環境作りも必要だと思います。

○男女平等と一口に申しまして、男手に出来る事、女手に出来る事はやはり違う部分があるので、お互いの力が発揮し合える様な環境になればとてもいいと思います。

○女性も多くの人は仕事を持ち社会に貢献したいと考えていますが、今まで子育てや介護は女性がやるのが当たり前の時代でした。今後、女性が仕事を持ち子育てや介護を男女協力して行うためには、企業や事業主が労働時間の短縮や休暇制度を普及していく必要があると思います。社会全体で変えていく努力が大切だともいます。

○根本的意識改革が必要だと思います。

○男・女が性差があっても当然で、平等にというよりはお互いを認め合って、お互いの足りないところを埋め合えばいいと思う。必ずしも全てが平等であるべきだとは思わないし、そうはいかない。

50代男性(4件)

○公務員の女性の比率を高め、民間企業のモデルになると良いと思います。

○人権、平等、能力開発等々、色々考え進めていかなければならないことは間違いないと思う。が、人間本来の男と女の役割は普遍の部分があります。(と言っても近未来では男は不要の時代が来るらしいですが……)

○男女ともに協力し合い、バランスのいい男女共同参画社会になっていけるよう石狩市全体で考えて(自治体との協力)等が必要だと思う。

○男女別でなく個人差によるものだと思う。女性だけを尊重するというのでは男性への差別ではないか。個体差による(男が強く女は弱いというのは、よい逆差別と思うので)参画を目指すべきと考える。男でも女でも能力のある人物は登用できる環境を整備すべきである。

50代女性(8件)

○男女共同参画社会が出来たという事がおかしいと思う。なぜ男が働き女が家庭・子供をと云う社会にしようと考えていけないのか？何もかもが基本をくずしてしまっていると思う。その結果、国自体が傾いているのではないのでしょうか。政治家が男性という事で考えが分かりません。

○石狩市は老人に対しての優遇比率が多く、これからの子供達への支援が少ない。このままでは若い人達が減少し年寄りだらけの市になってしまう。もう少し子育てしている若い夫婦、家庭が暮らしやすくなる助成をしていかなければ将来老人だらけの市になってしまうもったいないことだと思う。

自分もそうだが先行きが短い老人よりもこれから石狩で育っていく子供達、その子達を育てている親に援助が必要だと思う。教育費も少なすぎる。給食も悪すぎる。このままでは子供がかわいそう。石狩を良くしようとするならもっと若い人達に目を向けるべき、せつかく石狩に住んでくれているのだから……。

この様な男女云々というアンケートより、これからの若い人への要望とか聞いてあげる方がよっぽど良いと思う。(これからの石狩市の為にも)もう少し視点を変えて下さい。このままだと本当に老人だらけの市になってしまいますよ。その方が市の負担も増えるのでは？！

○「男女共同参画」について、今まだ理解しかねています。これから勉強します。ごめんなさい

○無差別に送られてきてちょっとめんどくさかったです。

○声高に男女平等を謳わなくとも基本的な格差は随分と解消されてきたと思います。しかし、地域社会や会社や職場ではまだまだ無条件に男性が優遇されているのが実状では？ 同等またはそれ以上の能力がありながら女性というだけで実力を発揮する機会に恵まれないケースは実に多く、国・社会・職場にとって大きな損失だと思います。ただ個人的には男性(夫)が存分に働き活動できるために支えるというのも女性の大きくて大切な役割とも思っているのです、直接自分が社会のあらゆる分野に参加できなくても夫を通じて貢献しているという自負はあります。問6の子育てに関する考え方にもありましたが、人としてはどこまでも平等だとしてもやはり男女は全く別の能力を持つ性別なので男は男らしく、女は女らしくというややもすると時代錯誤と切り捨てられそうな考え方・育て方ももっと大切にされて良いと思います。上辺だけの平等意識ではお互いの良さが失われるばかりではと危しております。男女共同参画を正しく理解できないので？的外れな事を書いてしまいましたが悪しからず。

○家事もそうですが育児自体、母親が中心となります。それを見て育つ子供が無意識に母は家庭、父は仕事と思い込む”すりこみ”なのではないでしょうか？母子家庭で子供2人を育てましたが、育った子は父という関係(役割)や家族の役割(立ち位置)とかまったく理解できておりません。教えても理解できません。男女がどうのというより、自分以外の人に対する接し方、考え方を踏まえてからの男女の考えがあるべきだと思います。

○男女の社会的地位の平等推進はいいと思うがその反面結婚や出産に対して積極的な考えが薄れるのではないかなと思う。自分のライフスタイルを確立する事が1番大切ではないか

○子育てにおいては保育サービス等が重要視され、今後充実化されつつあると思うが、介護については女性は仕事を辞めて介護するのが当たり前の風潮にあると思う。介護するようになってからは精神的なゆとりが無くなった。自分でも社会参加してないし出来ないと思ってます。

60代男性(4件)

○男女関係なく互いに協調し、また協調し合える社会になる様目指す事

○企業の本音は、職員(社員)として勤務してもらうからには休まれたら困るというものである。男女を問わず育児や介護にあたる職員(社員)には冷たい。正職員(社員)でありながら産休や育児休暇(休業)に対する就業規則の不備等もよく見られ。政府・地方公共団体は企業・事業主にもっと厳しく指導していくべきと思う。

○男女共同参画は、役所から与えられたものではなく個々人が改善していくべきものである。

○設問は政治・経済 > 家事・育児という前提であるのではそもそも女性は肉体的・生理的に家事・育児に適合しているのです。(対外的にそんなことは公言できないが)家事・育児は極めて大切であり誰が担うかは異論あろうが、平等イコール片手間になると不幸なのは子供である事を忘れている気がします。従って、市行政は平等の陰に悪平等も隠れてる事を市民に伝えるべき。現代風の共同参画、平等が必ずしも日本の経済にとって効率的なのか、未来の子供達に好ましい事なのかといった視点が大切だと思います。

60代女性(7件)

○男女の平等はかなり進んでいると思いますが、女性側も楽な方にと積極的に前に出られない方が多いとも思われます。昨今の男性議員の発言にあったように、年配の方々の意識の根底にまだ男性優位にしがみついている部分がどこかで受け継がれているのでは？又、こういう事は恥ずべき事と大いに取り上げるが良いでしょう。性の違いと平等は難解ですね。

○男女共同参画の説明が良くわかりません。

○子供の時から意識付けが大切かと思います。

○まだまだ男性優位の社会だと思います。団塊の世代を始めに意識改革が必要と思われます。家庭でのコミュニケーション。市からの男女ともに参加しやすい公共の場、まだ足りないと思います。我が家では出来る人がする様に大分なってきました。

○男性も家事、掃除、子育てをして当然の教育を1人1人が身の回りのことを1つ1つこなす能力をつける

○理念や意識の啓発が着実に具体化され、現実には誰もが平等な社会として賛同できる家庭や地域、国であることが大切。そういう社会、国であるよう、自ら改革を図れる周りの環境整備が大事です。

○男性の育児参加と言っても労働時間が長いのでなかなかできない。パパと一緒に早い時間に夕食を食べれるよう企業への働きかけも行政がやってほしい。
男女共同参画と言っても夫婦の話し合いや職場での意識を高めてほしい。女性のパート労賃上げてほしい。

70代男性(6件)

○男女が平等な立場で、対等な意識を持ち社会活動に積極的に参画し共に活性化の推進寄与し、責任を共有し社会に貢献する心構えを醸成する必要がある。

○石狩市としてもっと意識の啓発をするべきだ。研修機会を充実させるべき。

○小生の様な高齢者にはこの様な調査はそぐわない。

○全て男女平等の意識というのは如何なものか。男性には男性にしか出来ないものがある。性の異なるものはいかようにも仕がたい。豊かなコミュニケーションと互いを尊敬しあう心のつながりが肝要と思う。

○人口減・人材不足の時代女性は特性を生かし人材登用して社会に進出するべきだと思います。

○子供を育てやすい社会構造にしないとますます少子化が進む。

70代女性(2件)

○今は子育ても終わり夫も見送り一人です。単身赴任の娘と孫と一緒にいます。現在の娘夫婦を見ていると共に話し合いお互いに出来ることを助け合いながら子育てをしています。昔の私の子育てとは大違いでとても微笑ましく見えています。男女共に話し合って助け合う事が出来る社会になるよう願います。

○高齢になると、まだ働けるのに企業側では何歳までと決めて募集するので他の仕事に就けず悩んでいます。

年代・性別不明(1件)

○私たちの頃はそんな事は有りませんでした。皆な元気で仲良くやってきましたから、苦労は大変でしたけどね。もう大正12年生ですからね。今はもう忘れちゃったよ。毎日デーサービスに通ってます。